

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

柏崎市長 櫻井 雅浩

市町村名 (市町村コード)	柏崎市 (152056)
地域名 (地域内農業集落名)	中鯖石地区 (与板、宮平、久木太、石川、佐之久、久之木、上加納、中加納、下加納、飛岡)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年12月21日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地域の南側はほ場整備事業を実施中であり、農地の集積・集約化が進んでいるが、地域の北側は水路等の老朽化が進んでいることと、豪雨時に農地が湛水しやすい地域のため、担い手の営農活動や収益に影響を与えており、基盤整備に対する意欲も低下している。そのため、水路整備等の対策が必要。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の南側はほ場整備事業により担い手への農地集積・集約が進むため、今後も地域農業を継続できる見通しである。また、地域の北部は、現在実施している排水路整備により、農地の湛水被害が軽減されることが見込まれるため、担い手の営農活動を向上したい。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	289.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	212.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

営農が継続的に行われており、今後10年間を見据えて引き続き耕作者が見込まれる農地を区域内農地として位置づける。他方、将来的に耕作放棄が見込まれる農地においては、周辺の農地に与える影響を加味した上で保全・管理を行う区域とするか否かを判断する

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地の効率的な活用を踏まえた集積・集約化を図るため、農業者と農地所有者が共同で検討し、農地バンクを通じて集団化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
所有者の貸付意向や担い手の経営意向を踏まえ、農地中間管理機構を活用した農地の段階的な集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
久之木集落で農地バンクを活用して、将来的な基盤整備を見据えた農地の集積・集約化を進める。また、市単農用地高度化事業を活用し、簡易な大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
持続可能な地域農業の運営に向けて、法人化による効率的な営農や新規就農等による規模拡大を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
該当なし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①電気柵の設置、草刈などの環境整備や有害鳥獣の捕獲
 ②農作物の商品価値を高める有機栽培や減農薬栽培等の拡大・推進
 ⑦地域共同による農地・農業用水等の日常管理や環境保全